

美团W (03690)

【セクター】 インターネット

【市場】 香港

【企業概要】

中国のフードデリバリー最大手。「小売+テクノロジー」戦略をもとに、フードデリバリーサービスや飲食店・ホテル・旅行の予約サービスを提供しているほか、新規事業にも積極的に取り組んでいます。新規事業は、地域コミュニティ向け共同購入サービスを提供する「美团優選」、ネット配車サービスの「美团打车」、生鮮食品配送サービスの「美团买菜」などが含まれています。最も強化している「美团優選」は2020年12月末時点で、中国全土の約9割以上の市・県クラスの都市をカバーしています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万人民元、EPS、1株配当、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

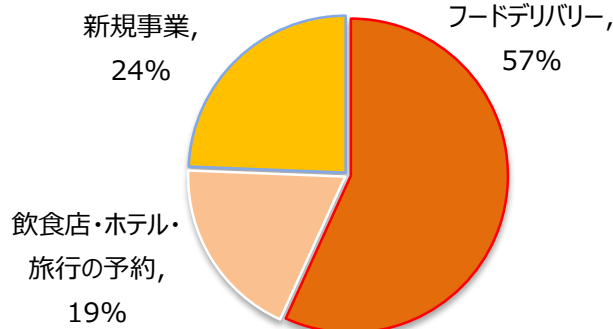
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
19.12期	97,529	4,657	0.81	0.00	15.9	2.5	69.7
20.12期	114,795	3,121	0.54	0.00	16.6	5.0	58.6
21.12期（予）	181,464	-16,541	-2.73	0.00	17.0	-19.8	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

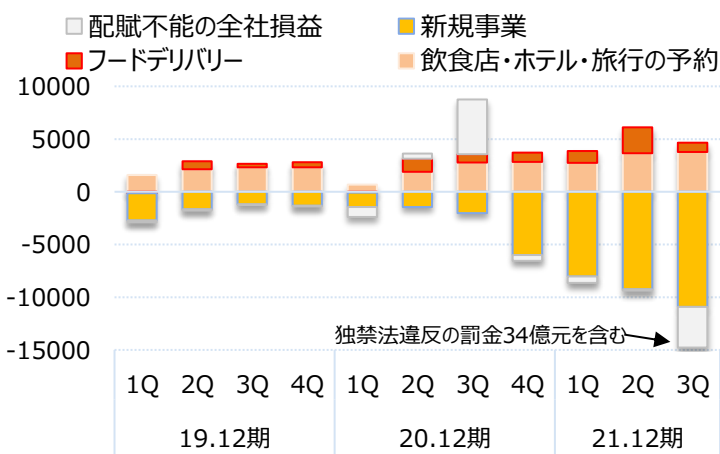
【主要指標】

部門別売上高構成比（20.12期）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

セグメント別営業損益の推移（百万円）



【会社の見方】

フードデリバリー分野で足場を固めた後、生活総合プラットフォームを目指して、積極的に新規事業を展開しています。新規事業は投資拡大の段階にあり、四半期ベースで営業赤字が続いています。経営陣は、当面は黒字化よりも規模拡大と顧客獲得を最優先すると宣言しています。中国当局が同社に対し、独占禁止法違反で34億円の罰金を科しましたが、規模は市場予想を下回りました。同社は今後、配達員の待遇改善を含めて、積極的に中国当局の規制に対応すると表明しました。

【見通し・注目点】

7-9月期は新型コロナの感染再拡大で、前年同期比38%増収（4-6月期は同77%増収）に鈍化。純損失も4-6月期の34億元から99億元に拡大しました。1）独禁法違反の罰金、2）新規事業の投資拡大、3）配達員の待遇改善に関連するコストの増加が響きました。2）は成長戦略の一環ですが、短期的には3）とともに、収益を圧迫する要因となりそうです。

（SBI証券 投資情報部 李 燕）

（更新日 2021/11/29）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。